行政語	泙価シ	 (事後記	平価)

コー										
4	-2-3 レセプト点検 市民部健康年金課									
	事務事業の目的 根拠法令等									
事務	レセプト内容を点検することにより、				□法律□□法律□□を何、担□□					
事業	■ 事業内容·実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名·団体の活動内容·補助金の活用内容等)、補助金(月内容等)、補助金の		
の概要	科·調剤	の内容の	の整合性)、縦覧(複数	数月にわ		の確認)を行	テい、疑	発表があるものに	セプト単位)、突合(医 ついては審査機関 5。
	事業開始	台時期	合併前力	いら 年度	実施形	態 ☑ 直営 [□委託 □ ネ	補助【]その他 ()
		Iļ	目		単位	17年度	18年月	芰	19年度	20年度
事	事業費(財 財 期 地方 内 その	· 支出金· 債	都支出金	:	千円					
事業費	訳一般					0		0		0 0
デー	所要人]給与×(E	3)	人 千円	1.60 13.096	,	1.50 12,242	1.5 12,24	
タ	臨時職員		•	•)	千円	17,512		17,802	14,95	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	_		+(C)+(C')		千円	30,608		30,044	27,19	,
	単位当/ (E)=(D)/	とりコス	. , . ,	総数)	円	42		39	34	
		活動	协等指標		単位	17年度	18年月	蔓	19年度	20年度
	レセス	か 総数		実績値	件	726,780		64,518		
	点検3	<u>率</u>		実績値	%	100		100	10	0 100
評価指										
指標		成	果指標		単位	17年度	18年月	蒦	19年度	20年度
の設定	- 次 ^{過誤}	件数		目標値 実績値	件 件	12,637	1	19,739	17,89	9
定	二 次 過誤	調整額		目標値 実績値	千円 千円	69,640	8	33,578	102,36	4
	(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)資格確認および内容点検を行った件数 (二次)資格及び内容点検により過誤調整された額									
事			▣団体等の −ト結果な		東京都	『による指導検査』	においてもタ	実績等	についてよい評値	面を受けた。
事業環境等			ービス水 ^½ ►市の順位	書との比較 立など)	브 # F	被保険者一 円)は26市中			た内容点検の効	果額(平成18年度890
	代替・類似サービスの有無			 の有無	□ 無	点検業務の外部委託				

コード	事務事業名	所管部課
コード 4-2-3	レセプト点検	市民部健康年金課

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、 今後改善すべき点等
事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性) 3人	□拡充	医療給付費が適正に請求されているか確認する業務であるが、近い将来導入される 予定である電子レセプト移行時には、点検
事業の 必要性	2	市民ニーズ 事業の の把握 必要性	☑ 継続実施	作業方法など業務内容を見直す必要がある。
事業主体 の妥当性	2	受益者負担 の適切さ 事業主体 の妥当性	□改善・見直し	
直接のサービ スの相手方	2	事業内容等 直接のサービ の適切さ スの相手方	□抜本的見直し	
事業内容等 の適切さ	2		□休止	
受益者負担 の適切さ	3		□廃止	
市民ニーズ の把握	1			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、 今後改善すべき点等
事業の優先 度(緊急性)	2		□拡充	請求段階における誤りを是正し、医療給付費の適正な執行を図るための取組として効果があることを評価する。引き続き、精度
事業の 必要性	2	事業の優先 度(緊急性)	☑ 継続実施	の高い点検に努められたい。
事業主体 の妥当性	2	市民ニーズ 事業の の把握 2 必要性	□改善·見直し	
直接のサービ スの相手方	2	受益者負担 事業主体	□抜本的見直し	
事業内容等 の適切さ	2	の適切さの妥当性	□休止	
受益者負担 の適切さ	3	の適切さ スの相手方	□廃止	
市民ニーズ の把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
□拡充	二次評価で指摘のとおり、引き続き精度の高い点検に努められたい。
☑ 継続実施	
□改善・見直し	
□抜本的見直し	
□休止	
□廃止	